



ひびき

◆ゆたかなかわりを求めて
夢や希望をもち
未来をひらく子ども

言葉には力がある～6月全校朝会(5/31)講話より～

校長 渡邊 芳久

* これまで全校朝会は、放送又はリモートでの開催を続けていました。今年度は、体育館で参加する児童と教室等からリモートで参加する児童とに分けたハイブリッド方式で実施しています。

(略)

6月と7月の生活のめあては「見直そう言葉 深めよう学習」です。

今日は、その中の「言葉」について皆さんと一緒に考えていこうと思います。

皆さんは、言葉には力があることを知っていますか？人を元気にさせる力、人の気持ちを明るくする力、勇気を与える力・・・言葉には、そんな力があることを皆さんなら知っていますよね。

(ステージに3人の児童に上がってもらおう)

「あっ、一生懸命に掃除している人がいる」「すごいね！いつもお掃除ありがとう！」

(児童に、言葉を聞いたときの感想を聞く)

「あれ、なんだかいつもと違って元気がない人がいる」「ねえ、元気ないみたいだけど大丈夫？どうしたの？」(児童に、言葉を聞いたときの感想を聞く)

「縄跳びの練習をしている人がいるぞ」「すごいね！すごい！がんばってね！」(児童に、言葉を聞いたときの感想を聞く)

(ステージに3人の担任に上がってもらおう) *児童へ絶対に真似はしないように伝える

「あっ、一生懸命に掃除している人がいる」「な～にまじめにやってんだよ、バ○じゃね」(A担任に、言葉を聞いたときの感想を聞く)

「あれ、なんだかいつもと違って元気がない人がいる」「ア○、こんなとこで何やってんだ、じゃま！」(B担任に、言葉を聞いたときの感想を聞く)

「縄跳びの練習をしている人がいるぞ」「な～にやってんだ、へたくそ」(C担任に、言葉を聞いたときの感想を聞く)

今、皆さんには、いくつかの場面での私の言葉を聞いてもらいました。その中で、人を元気にさせる力のある言葉、人の気持ちを明るくする力のある言葉、勇気を与える力のある言葉はどんな言葉か伝わりましたよね。そして、言葉には、その反対の力があることも分かったと思います。バ○やア○などと言って、人の心を傷つけた場合、それはいじめです。言葉の暴力とも言います。

今日の私のお話については、それぞれの学級でも、例えば、ふわふわ言葉を増やし、チクチク言葉を失くそうなどの取組をやっていることと思います。

ですから、皆さんの中には、人の元気を失くしたり、人の気持ちを暗くさせたり、勇気を奪ったりする言葉を使う人はいないと思っています。

(略)